

第 5 期四谷地区協議会会議録

分科会名	役員会	開催回	平成 25 年度 第 5 回
開催日	平成 2 5 年 9 月 2 4 日（火）四谷特別出張所会議室 午後 2 時～3 時 30 分		
出席者	区民	役員 6 名	職 員 2 名
主な議題	1, 各分科会報告・連絡について		
	2, 地区協議会連絡会、他関連会議について		
	3, 地区協議会連絡会(区内 1 0 所協議会連絡会)について		
	4, その他		

1 各分科会報告・連絡について

	主な内容
第 1 分科会	<p>○四谷を識る勉強会について(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月14日に無事開催できました。 ・当日は連休初日のせいか（一般）参加者が11名と少なかった。次年度は開催日を検討する。 <p>○テーマ別活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、質疑応答で話し合った内容と同じ質問を同じ方が繰り返す状況があり、会議録に記載されている内容を確認いただくことで、話を終えた。会議進行に支障をきたさないように注意を促したい。 ・道路に関する意見交換について 区に提案・意見する内容のたたき台について意見交換を行った ・道路交通法関連等、法律に関わる問題は除外することとした。 次回は、自転車に関する問題を意見交換予定。各委員が意見したい内容をまとめておくことを宿題とした。
四谷お宝さがし 実行委員会	<p>○実行委員企画仮称「四谷のお宝」学校編進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の担当者が、折衝中。
観光まちづくり 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・9月休会 <p>明日 10 月 12 日打合せ会議予定</p>
第 2 分科会	<p>○体操教室進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が増えてきた。高齢化率に比例して、長期的に見ると増加する一方と推測する。区長トークのテーマ（四谷）とも重なるので、意見できるよう準備をしたい。 <p>○四谷地区乳幼児支援機関関係者連絡会主催イベントについて(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月8日に開催。参加者248名（大人115名、子ども133名）盛況だった。 <p>○11月3日に開催予定、育成会主催の「あいさつ運動イベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達だけのイベントにならないよう、「四谷子ども見守り隊」参加者と交流ができるようなコーナーを検討し、協力したい。

第3分科会	<p>○秋の花いっぱい運動について(日程決定報告)</p> <p>四谷小学校 10月25日午後 四谷第六小学校 10月29日午前</p> <p>○四谷駅前大通りのごみ回収について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの回収が、来年4月から(毎日だったが)週に2回に変更になる。 ・大久保通りではすでに縮減の実施済みなので、状況をうかがった所、大きな問題はなかったとの回答だった。 ・第3分科会の10月の会議内で関係職員を招き、指導班の指導内容等の情報の共有化と想定する課題と解決案を話し合いたい。 意見交換会(勉強会)は公開し、町会・地区協議会委員に開催案内を周知予定。 ・区に文句を述べる場ではなく、事前の情報共有と、混乱のない切替に臨む場とする。 <p>○「内藤とうがらし」について</p> <p>①伊那市イベントの協力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高遠町で11月17日に開催される「内藤とうがらしシンポジウム」に、内藤とうがらしプロジェクトを推進する、当会に出席招待をいただいたが、この度、委員1名を正式決定した。 ※出席者の選定(1名)は役員会で第3分科会に一任とされていた。 <p>②高萩市まちづくり関連団体の視察について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月25日に「内藤とうがらしの普及と緑化によるまちづくり」をテーマに四谷の取組みの視察を希望された。 ・四谷小学校で開催する「花いっぱい運動」の活動日でもあるので、実際に見学いただくこととなった。
広報	<p>○「声」第9号について(進捗状況)</p> <p>今月中に入稿。10月下旬発行予定。</p>
課題別 PT 防災・地域安全	<p>○「多様性のある視点での避難所運営について」情報提供に関する報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者29名(関係者含まず)全員がアンケートに記入くださいました。 ・そのことから、参加意識が高く、強い関心を持って参加して下さったことがうかがえた。 ・これからも情報共有の場の企画を継続していきたい。

2 新宿エコリーダー養成講座について

※依頼書(写)を役員一同で確認。

○協力可能な委員が個人的に参加することとした。

○謝金については、協力した委員の個人的な活動として受領し、協議会委員としての報酬を受領としないことを確認した。

(補足：後日まち歩き案内の協力した第三分科会リーダーは報酬について辞退した。)

3 新たな地域活動人材について(提案と意見交換)

- ・地域活動の(コーディネートと人材発掘)窓口案について

◆発案骨子

- 地域団体では、多種多様の地域活動の担い手不足が課題となっている。
- 同一の課題を解決するために、互いが連携・協力し、新たに人材募集窓口を開設したいと考える。(ホームページ等の解説)
- 各団体がどのような人材を求めているかを明確にすると同時に各団体も、新たな活動希望者の受け入れ態勢を明確にしていきたい。

◆発案に対する主な意見

- 地域団体の中には、新たな活動希望者の受け入れを一般公募ではなく、個人的な声かけで募る場合もあるので調整が必要。
- 町会活動においても、人材不足を感じる。また、町会と円滑な連携ができる団体は、地域活動が活発化しているように思う。各団体の活動希望者が、町会への理解を深めていただけると一層効果的と考える。
→活動希望者に無理強いはできないが、必然的な流れとして在り得ることもある。各団体活動に参加することで、「町会」や「地域」が見えてくるのではないかと。
- 活動に協力していただけることが前提なので事前に活動内容を理解していただくことも肝心だと思う。
- 新しい方とのトラブルもあるかもしれないが、拒むことなく受け入れることも大切かと思う。活動を理解していただきながら定着していただければよいと思う。
- 会社を退職してから、地域活動に関わることは、縦社会から横社会に移ることであり、困難が多い。スキルやプライドが邪魔することもある。特に男性には受け入れがたい面もあると思う。
- 地域団体で活動しながら最終的には町会活動に関わる方も増えると思う。長い目で人材を育てる意識も必要かと思う。
- 「防災・地域安全」も町会活動の重要な活動。町会活動の説明には欠かせない。地域の支え合い、見守りが日常生活の安全安心に繋がることを理解いただきたい。町会活動の誤解を解きたい。
- 次世代育成が必要だが、期待をしすぎて負担を大きくしないような配慮も必要。
様々なニーズと地域貢献をマッチングさせる仕組み作りを構築したい。
- 次回の役員会で発案者が具体的に案を文章化し提示することとした。

4 地区協議会連絡会について

(本年度開催日未決定につき連絡事項なし)

5 その他

- ・自治基本条例関連の情報について
特になし
- ・地域貢献活動を希望する団体(大日本茶道学会)の紹介について(別紙ちらし参照)
観光まちづくり実行委員会の活動でも文化発信の紹介として活用できるのではないかと
→観光まちづくり実行委員会で検討することとした。

次回日程

◆ 10月22日(火) 14:00～16:00(予定) 四谷特出会議室

